

番組「すたあと 3つのひんとでわかるかな?」を活用した本時案

新潟市立新潟小学校 教諭 三星雄大

月
日

活動名 スリーヒントクイズ

活動のねらい 番組を視聴し、「スリーヒントクイズ」の活動に取り組むことを通して、身近なものに対する理解を深めることができる。

本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 番組を視聴し、活動に見通しをもつ。 「3つのひんとでわかるかな?」 ・ チョークだ。先生がいつも使っているね。 ・ ギターかな? 難しいね。	○番組中にクイズがある。子どもは視聴しながら自然とクイズに答える。その自然な反応を大切に、5分間は動画を止めたり教師が指示をしたりはしない。
2	2. 「スリーヒントクイズ」を行う。 ・ ぼくもクイズを作ってみよう。 ・ 学校探検で見つけたものを答えにしよう。	○「やってみたいことはありますか?」などと、自分たちもスリーヒントクイズを作ってみようという思いを引き出す。
8	3. 「スリーヒントクイズ」のヒントの出し方のコツを共有する。 ・ 形をヒントにしていた。 ・ どうやって使うかもヒントにしていたね。	○番組中に示されていた「形」や「どうやって使うか」の他にも「色」「いつ使うか」などもヒントに使えることを共有する。こうすることで、子どもがヒントを考えやすくなる。
10	4. クイズを作る。 ・ 僕は、音楽室を問題に出そうかな。 ・ 私は、教室の黒板を答えにしよう。	○答えの部分は、絵でも言葉でもよいこととする。また、早く終わった子どもについては、2つ目のクイズも作ってよいこととする。 【クイズを作る際のワークシートはこちら。】
10	5. スリーヒントクイズ大会を行う。 ・ ヒント1: 楽器がたくさんあります。 ヒント2: 歌を歌うこともあります。 ヒント3: 大きなピアノがあります。 ・ 答えは、音楽室です。	○話を聞くときのポイント「しゃべらずに」「相手を見て」「最後まで」を確認すること。 ○手を挙げて質問をすることを確認すること。 ○一回の活動で全員のクイズを出すことは難しい場合は、毎回の国語の導入部分で活用したり、ペアで行ったりするとよい。

☆番組活用の別案

- ・ 生活科の「がっこうたんけん」と関連させて、「スリーヒントクイズ」を実施することもできます。学校探検をした後に、見つけたものをスリーヒントクイズにして伝え合う場面を設けます。クイズにすることで、興味をもって友達の話聞くことができ、また、自分が知らないことがクイズになっていた場合は、次の探検のときに見てみたいという次の活動への意欲につながります。
- ・ 国語の時間の導入で行うと、話すこと・聞くこと力も高めることができます。継続が大切です。

新型コロナウイルス感染症対策で配慮すること

ペアで行う場合は、対面を避け、距離をとって行いましょう。



NHK

Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation). All rights reserved. 許可なく転載することを禁じます。